

歴史的仮名遣い・行書の特徴・部首

(1) 次は、「ふるさと」の歌詞の一部とその現代語訳です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

歌詞	現代語訳
ふるさと うさぎ追ひしかの山 小ぶな釣りしかの川 夢は今もめぐりて 忘れがたきふるさと	ふるさと うさぎを追ったあの山 小鮒を釣ったあの川 その時の思い出は今も駆け巡り 忘れることができないふるさと

- ① — 線部「追ひし」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
② || 線部「忘れがたき」の意味を現代語訳から抜き出しなさい。

①	②
---	---

(2) 次の行書で書いた漢字の○で囲まれた部分の㉠と㉡の特徴として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つずつ選びなさい。



- 1 筆順の変化
2 点画の連続
3 点画の省略
4 点画の方向や形の変化

㉠	㉡
---	---

(3) 次の [] 内の三つの漢字と同じ部首に属する漢字を、あとの1〜4までの中から一つ選びなさい。

海池泣

- 1 梅 2 泉
3 地 4 章

--

